



Photo: U.S. Army National Guard/ Sgt. Amouris Coss

COVID-19（新型コロナウイルス） 女性と女の子に対する暴力

このレポートは、COVID-19の世界的流行が、女性と女の子に対する暴力に及ぼす影響を示す最新のエビデンスに焦点を当てます。パンデミックの発生時、発生中、そして発生後における、女性と女の子に対する暴力の防止・対応のために、政府、国際機関、市民社会組織など、社会のすべてのアクターが取るべき行動について、すでに実行されている具体事例を交えながら、提言します。また、このパンデミックの経済的影響と、それがどのように女性と女の子に対する暴力の問題に長期的に作用しているかを検証します。

これは、現在、COVID-19危機に直面している国々で、女性と女の子に対する暴力の問題に取り組んでいる、あらゆる領域の専門家の知見と経験をベースとした随時更新文書です。

世界で

2.43
億人

過去12ヶ月の間に親密なパートナーによる性的/身体的暴力を受けた15~49歳の女性と女の子の数

1/2

世界人口の半分がCOVID-19感染拡大防止のためにロックダウンの影響下にある

影のパンデミック： 女性と女の子に対する暴力とCOVID-19

世界では

2.43 億人



の女性と女の子（15歳～49歳）が、過去12ヶ月の間に親密なパートナーから性的・身体的暴力の被害を受けました。

窮屈で閉塞的な住環境の下、安全・健康・金銭面の不安が家庭内の緊張感や重圧を増幅させる中で、この数字は増加するでしょう。

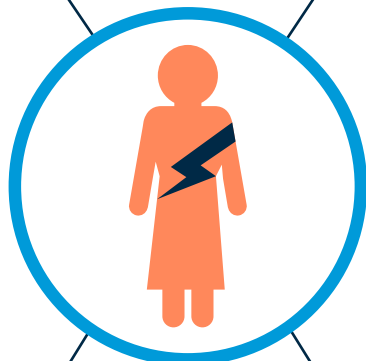
COVID-19の感染拡大が始まってから、女性と女の子に対する暴力（特にドメスティック・バイオレンス：DV）が激化しています。

フランスでは、3月17日のロックダウン開始から、DVの報告件数が**30%**増加

電話相談サービスの受理件数が、キプロスでは**30%**、シンガポールでは**33%**増加

アルゼンチンでは、3月20日のロックダウン開始から、DVの緊急通報件数が**25%**増加

カナダ、ドイツ、スペイン、英国、米国では、DVの報告件数と緊急シェルターの需要が増加



ウイルスの感染拡大を防ぐための外出自粛命令が拡大するにつれて、暴力を振るうパートナーと生活を共にする女性たちは、支援者や支援サービスからさらに遠ざかってしまいます

87,000 人

の女性が2017年に殺害されました。加害者の大半が親密な関係にあるパートナーや家族でした。

女性と女の子に対する暴力は社会に蔓延していますが、通報されるのは一部です。通報や支援要請をした暴力被害者は、

40%未満

にとどまっています。

女性に対する暴力のコストは全世界で約

1.5兆USドル

と見積もられています。暴力が増加する今、そのコストはさらに上昇し、その傾向はパンデミック収束後も続くと考えられます。

COVID-19の急速な感染拡大により、最も先進的でリソースの豊富な医療システムでさえ、暴力対応の現場を含め、限界を迎えようとしています。



DVシェルターは、収容可能人数の超過や、ロックダウンと社会的距離（ソーシャル・ディスタンス）政策により、新たな被害者の受け入れが難しい状況に陥っています。

国のCOVID-19対応に 求められること



女性と女の子に対する暴力への対応の強化。シェルター、ホットライン、オンラインカウンセリングに追加的に資源を投入する。これらの必須サービスを拡大し、COVID-19危機の状況を踏まえた形で提供することで、被害を受けた女性たちが支援に必ずアクセスできるようにする。



心理社会的支援の提供。感染拡大の影響下にある女性と女の子、ジェンダーに起因する暴力の被害者、最前線で働く医療従事者や社会支援関係者に対する心理社会的支援に優先的に取り組む。



法執行機関からの「暴力は処罰の対象である」という強いメッセージの発信。警察と司法機関は、女性と女の子に対する暴力事案は高い優先度をもって対応し、COVID-19危機に伴って発生する暴力の兆候に対処するよう注意を払うことが求められます。

動向と課題

女性と女の子に対する暴力は、人権侵害であり、普遍的な課題であり、被害者・サバイバーとその家族、コミュニティに甚大な影響を及ぼす問題です。¹

15歳から49歳の女性と女の子の18%近くが、直近の12ヶ月間に、親密な関係にあるパートナーから身体的もしくは性的暴力を受けています。²「生涯を通じて」という時間軸になると、この数字は30%に増加します。³ 殺害された女性の3分の1が、その当時、もしくは過去のパートナーによって殺害されています。⁴

パートナーによる暴力は、女性と女の子に対する暴力の中で、最も広く蔓延しており、平常時、紛争中、紛争後などあらゆる状況下で、また、家庭、コミュニティ、社会など様々な場で起こります。テクノロジーの進展は、サイバー空間での暴力を多様化させています。公表されたデータによると、暴力の被害を受けた女性の中で、何らかの助けを求めたことがある人は40%未満にとどまっています。助けを求めたと答えた女性のほとんどが家族と友人を頼ったと答えています。警察に助けを求めた女性は10%未満です。⁵

COVID-19の世界的流行により、女性と女の子に対する暴力は増加すると見られます。最新のデータによると、COVID-19の発生以降、ロックダウンによる窮屈で閉塞的な住環境の下、安全・健康・金銭面の不安が家庭内の緊張感や重圧を増幅させる中で、女性に対する暴力、特にDVの報告件数が増えている国があります。4月初旬の時点で、世界人口の半分以上がロックダウンを強いられる生活をしています。

例えば、フランスでは、3月17日のロックダウン以降、DVの報告件数が30%増加しました。電話相談サービスへの相談件数が、キプロスでは30%、シンガポールでは33%増加しています。^{7,8} アルゼンチンでは、ロックダウン開始から、DVの緊急通報件数が25%増加しました。⁹

カナダ、ドイツ、スペイン、英国¹⁰、米国¹¹では、政府当局、女性の人権活動家、NGO等の市民社会組織が、COVID-19危機下でのDVの報告件数と、それに伴う緊急シェルターの需要の増加を報告しています。¹²



Photo: Hospital Clínic/ Francisco Àvia

「女性と女の子に
対する暴力の脅威は、
COVID-19によってさらに
高まるでしょう」

COVID-19の女性と女の子への影響



必須サービスへの
プレッシャー



ドメスティック・
バイオレンス



オンライン上
の暴力



移動制限

オーストラリアのサウスウェールズ州で行われたWomen's Safety New Walesによる調査は、最前線で働く労働者の40%が暴力サイバーによる支援要請が増加したと答え、70%がCOVID-19の感染拡大中に対応したケースはその複雑さがより深刻になっていると答えたとしています。¹³

DVの報告件数の増加は、支援サービスがやむなく縮小される中で起こっています。医療従事者がCOVID-19対応の過重負担を余儀無くされる中、暴力被害を受けた女性たちへの救命措置やサポート（レイプ被害の臨床管理、メンタルヘルス支援や心理社会的ケア等）が中断される可能性があります。基礎的な必須サービスが提供されていても、DV対応における医療、警察、司法、社会支援セクター等の連携の中断と、ソーシャル・ディスタンス政策が、暴力被害を受けた女性と女の子への有意義で適切な支援の提供を困難にします。

一方、社会的距離政策によって、移動が制限されていたり、質の高い必須サービスへのアクセスが限られている、もしくは通常とは異なる形（例：電話、メールなどによるカウンセリング）で運営されていたりする状況では、支援要請が減少しているケースもあります。イタリアでは、3月前半のDV相談電話の件数が減少しました。多くの女性たちが、ロックダウンの影響下で、支援を求めることができなかったからです。フランス北部の女性シェルターネットワークも、電話相談件数の減少を報告しています。¹⁴ 暴力への対処や避難のための支援に繋がらない女性がいるという、憂慮すべき事態の兆候です。現状において、支援を提供し、虐待行為を発見・認識できるようなネットワークや団体（例：女性の権利に取り組むネットワーク、教師、医療従事者、宗教指導者、地域社会開発担当官等）に繋がることができない女性や女の子が多くいる可能性があります。また、ジェンダーに基づくデジタル・デバイドにより、¹⁵ 多くの国の女性と女の子、特にあらゆる形態の差別に直面している女性と女の子が、支援に繋がるために必要な携帯電話、コンピューター、インターネットへのアクセスが無い、もしくは、暴力加害者や他の家族の監視下で、安全に電話やインターネットを使えない状況にある可能性があります。

女性がテクノロジーにアクセスできている所では、オンラインでの暴力が増加しています。COVID-19危機の前は、欧州連合（EU）に住む10人に1人の女性が、15歳になってから今までの間にサイバー・ハラスメント（望まない、攻撃的な、性的に露骨なメールやSMSメッセージ、SNS上での攻撃的で不適切な接近など）を経験したことがあると答えています。¹⁶ COVID-19の感染拡大と、それに伴う移動制限により、この数週間で、オンライン・プラットフォームの利用が増加しています。そのような状況を、若い人を搾取的な状況に誘い込む機会として悪用するケースがあります。¹⁷ 欧州刑事警察機構は、児童虐待の画像等を求める者のオンライン活動が活発化していると報告しています。¹⁸ 数百万人もの女性と女の子が、頻繁に、場合によっては毎日、仕事や学習のためにビデオ会議を利用しています。メディア、SNS上の書き込み、女性の権利の専門家によると、ストーカー、いじめ、セクシュアル・ハラスメント、性的なメッセージの投稿など、多様な形態のオンライン暴力が増加傾向にあります。チャットルームでのソーシャルイベントにダイヤルインする際にポルノ映像が送りつけられてくるなどの例が含まれます。¹⁹

女性と女の子に対する暴力の報告件数の増加と同時に、暴力の複雑化も明らかになっています。

危機的状況の下では、人身取引、児童婚、性的搾取・虐待など、異なる形態の暴力が悪化することが、エボラ出血熱パンデミックの時にわかっています。²⁰ COVID-19も、同様の傾向を示す可能性があります。²¹ 公共空間での性暴力や、他の形態の暴力への恐れが増幅し、実際の被害も増加する可能性があります。²² さらに、フィリピンやインドでは、都市部や農村部でのCOVID-19の感染拡大に伴う社会的距離政策により、道路と公共交通機関には必須サービス従事者以外の利用者がいなくなり、人目なくなる中で、そのような事案が発生しています。

COVID-19対応の医療現場で働くヘルスケア従事者の70%が女性であり、健康・ウェルビーイング・安全の複合的なリスクに直面しています。中国、イタリア、シンガポールでは、医療現場での身体的暴力や暴言の件数の増加が報告されています。²³

女性と女の子に対する暴力と、 COVID-19がもたらす経済的影響

Photo: UN Women



女性と女の子に対する暴力は、被害者への支援サービスの費用から、刑事司法制度による対応の費用に至るまで、多大な社会的・経済的コストを生み出しています。²⁴ 世界規模では、女性と女の子に対する（公的、私的、社会的領域での）暴力のコストは、\$1.5兆ドル、世界のGDPの約2%に相当すると推計されています。²⁵ 暴力が増加する今、コストも上昇しています。その傾向は、パンデミック収束後も続くかもしれません。女性と女の子に対するあらゆる形態の暴力は、COVID-19がもたらす経済的影響を悪化させるばかりか、経済回復の遅れの要因にもなります。

ビジネスや産業の閉鎖によるCOVID-19の経済的影響は、コミュニティ、特に従前から脆弱な状態にある層を経済的に逼迫した状況に追い込みます。²⁶ 男性に比して、より多くの女性たちが、不安定で、低賃金で、パートタイムのインフォーマルな雇用に就いています。所得保障や健康保険のような社会

保障が無い、もしくはほとんど無いケースが多く、非常時の景気低迷にあたり、十分な保護を受けられない状況にあります。

エボラ出血熱とジカウイルスの蔓延の経験から、エピデミックは、経済的地位、能力、年齢、ジェンダーなどをベースとした、既存の不平等を増幅させることがわかっています。厳然たる社会経済的不平等は、最も脆弱な層の女性たちの暴力被害リスクを高めます。収束後も、失業、経済的逼迫、不安の増加に伴って、暴力のリスクも次第に高まることが予想されます。（DV等の）暴力被害に合っている女性たちは、収入を失うことで、逃げることも難しくなります。

COVID-19の財政的影響は、女性団体による、女性と女の子に対する暴力に関する政策改革を求めるアドボカシー活動や、暴力サバイバーへの支援活動にも長期的な影響を及ぼしかねません。

女性と女の子に対する
暴力で生じるコスト
(世界規模)の推計

\$1.5
兆ドル

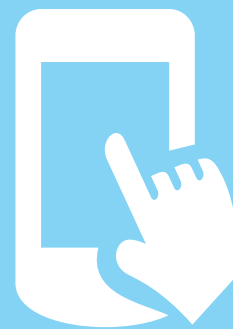
政府や市民社会組織による取組みの例

女性の安全の確保

- カナダでは、DVシェルターはロックダウン期間中も運営を継続しています。カナダ政府によるCOVID-19の支援パッケージには、性暴力やジェンダーに起因するあらゆる形態の暴力の被害者のシェルターへの支援策として\$5,000万ドルが計上されています。ケベックとオンタリオでは、DVシェルターは、必須サービスとして位置づけられ、ロックダウン中も運営を継続しています。
- イタリアでは、検察が、DV事案においては被害者が家を出るのではなく、加害者が家を出なければならないと裁定しました。
- フランスでは、シェルターの収容可能人数に限りがあるため、ホテルがDVサバイバーに避難場所を提供しています。カリブ諸国を含む他の国々も代替施設の活用を検討しています。
- 中国では、アドボカシーの一環として、#AntiDomesticViolenceDuringEpidemicというハッシュタグを情報サイトのリンクと共に拡散し、沈黙を破り、暴力がロックダウンのリスクであることを広く発信する取組みが広がっています。
- 南アフリカの東ケープでは、暴力サバイバーの中でも、インフォーマル経済（非公式経済）で生計を立てる女性や、HIV/AIDSの影響下にある若年女性・女性に特化した、コミュニティレベルでの支援活動を強化するための支援が投入されています。
- オーストラリア、フランス、英国は、暴力を受けた女性たちや、支援団体に対し、追加の資金支援を行なっています。

革新的な解決策

- 多くのインターネットや携帯電話事業者が、移動制限と（オンラインサービスの）需要増加に対応して、暴力サバイバーへの支援に向けて動いています。アンティグア・バーブーダでは、2つの通信事業者の協力により、相談ホットラインへの通話料が無料になっています。
- スペインのマドリッドでは、位置情報機能付きのショートメールサービスがオンラインのチャットルームを開設し、暴力被害者への緊急の心理的支援を提供しています。
- スペインのカナリア諸島では、女性に加害者に気付かれずに通報できるように、薬局で「Mask-19」という暗号メッセージを提示すると、警察が出動する取組みが行われています。
- 英国のカンブリアでは、警察が郵便配達員と宅配配達員を動員し、虐待の兆候に目配りをするよう要請しています。パートナーが自分の携帯電話をチェックしていることを恐れている女性のためには、一見DV関連サイトには見えない「Bright Sky（明い空）」というアプリを普及させ、そのサイトを通じて情報と支援が提供されています。



バーチャル司法制度

- 暴力の不処罰を防ぐためには、組織閉鎖による司法業務の遅延に対応するための戦略やツールが重要です。カザフスタンでは、ロックダウンにより、裁判期日の取消が相次ぎ、暴力事件の裁判も延期されています。
- アルゼンチンは、司法プロセスの遅れに対処するための措置を講じ始め、DV被害者の保護命令期間を60日に延長しました。
- コロンビア政府は、法的アドバイス、心理的アドバイス、審問などの警察や裁判所のサービスをオンライン上でも継続的にアクセスできることを保証する命令を出しました。他の国では、司法システムの業務を継続させるために、DVサバイバーがテレビ会議で訴訟手続きができるようにするなど、インターネットを活用しています。



行動に向けた提言

政府、国際および国内市民社会組織、国連機関による迅速で協調的な取組みを通じて、COVID-19危機における女性に対する暴力の増加に対処することが重要です。複合的な差別に直面している女性と女の子たちのニーズを優先しなければなりません。

政府 – 国連機関

1 国によるCOVID-19の対応計画に、女性と女の子に対する暴力に対処するための追加的な資源とエビデンス・ベースの施策を盛り込む

2 COVID-19危機の間に暴力の被害を受けた女性のための支援を強化する

- 暴力を受けた女性に対する支援を「必須サービス」と位置付ける
- COVID-19危機を踏まえた上で、キャパシティの迅速評価（アセスメント）、リスクアセスメントの策定、安全対策、ケースプランニングを通じて、シェルターを含むあらゆる支援を強化し、暴力サバイバーが確実にアクセスできるようにする
- 暴力の被害にあった女性と女の子の支援の最前線で活動するヘルスワーカー、ソーシャルワーカーへの心理的サポートを確保する
- 隔離が必要なケースに対応できるように、ホテルや教育施設などの施設を転用するなど、シェルターの収容可能規模を拡大する
- 性的搾取・性的虐待からの保護（PSEA）、オンラインカウンセリング、さらにはSMS、オンラインツール、社会サポートネットワークなどのテクノロジーを活用した解決策を通して、相談窓口を強化する

3 主要なサービス提供者の能力強化を図ることにより、不処罰を回避し、対応の質を向上させる

- COVID-19感染拡大の状況下における女性と女の子に対する暴力の増加について、警察及び裁判所を含む司法関係者に対して注意喚起を行い、対応、保護、被害者とサバイバーの適切な支援への繋ぎ方に関する研修を行う
- 保健医療関係者、法執行機関及び裁判所の関係者、緊急シェルターやカウンセリングのスタッフなどのファーストレスポnderに対して、心理的サポートに関する研修を行う
- 教育支援・子ども支援に従事するスタッフに向けて、子どもの安全、また、自宅で虐待されているかもしれない、もしくは、オンライン上の性的搾取の被害に合う可能性がある子どもたちの適切な社会資源への繋ぎ方に関する研修を行う

4 政策変更、解決策、復興の中心に女性を据える

- 草の根の女性の権利団体、特に、リーチアウトすることが難しい、孤立しがちな、困難層の女性たちに対して必須サービスを提供している団体を支援する
- 女性と女の子に対する暴力の予防と対応に関する政策決定過程に、女性団体や女性のコミュニティ団体が参画できるようにすることで、ニーズや懸念事項を明らかにし、対応策に反映できるようにする
- COVID-19による危機の間に増加した女性と女の子に対する暴力への対応において、復興計画や長期的な対策策定・実施における女性団体の役割を重視する

5 男女別データを収集し、COVID-19による女性と女の子への暴力の影響を精査し、対応策に活用する

- DV（心理的・経済的な暴力を含む）や性暴力などの女性と女の子に対する暴力の発生件数に関する男女別データを収集する。発生場所も記録する
- COVID-19の状況下で増加した女性と女の子の支援需要に適切に対応するために、支援ニーズと支援供給キャパシティに関するデータを収集する
- データ収集活動が、女性と女の子の暴力リスクや困窮リスク増大させないように留意する

市民社会組織－国連機関

アドボカシーと多様なアクターによるエンゲージメント（関与）を強化する

- COVID-19感染拡大の状況下における女性と女の子に対する暴力の増加について、アドボカシーと意識喚起を行う
- COVID-19の状況下（例：家庭内のケアワークの女性による負担の増加、経済的逼迫/失業）で強調されかねない、ジェンダー・ステレオタイプや、有害な男らしさに対し、断固として異議を唱え、男性に向けてストレスを健康的に解消することを推奨するメッセージを発信する
- メディアに働きかけ、暴力のリスク要因がCOVID-19危機によっていかに増大するかを示し、女性と女の子に対する暴力の増加についての理解と注目度を高める
- DVサバイバーに向けて、公共広告などを通じて、情報を提供する。例えば、社会資源への紹介サービスについて、また、安全に働き続けるにはどうすれば良いかといった情報をあらゆる層の女性たちにリーチアウトできるように多様な形態・媒体を通じて発信する
- 在宅ワークを行なっている女性従業員を含め、DVを含む女性と女の子に対する暴力の予防と対応に関するグローバル・ガイダンスを活用し、民間セクターを啓発し、エンゲージメントを促す
- パンデミックが長期化する中、地方自治体に、女性と女の子にとって安全な公共空間の創出を徹底してもらう

UN Women：パートナーシップ

UN Womenは、「誰一人、取り残さない」という原則を踏まえ、すべての国、地域、グローバル・レベルでのCOVID-19の対応策・復興策に女性と女の子に対する暴力の解決を必ず盛り込むことをパートナーとともに働きかけています。

国連女性に対する暴力撤廃信託基金（国連信託基金）は、この危機的状況に鑑み、現在、すべての助成金を見直し、草の根の女性団体への緊急支援に充てられる財源を模索しています。

ドナーからの財政的支援を得られることを条件として、

国連信託基金は、「COVID-19 Funding Window」

（COVID-19対応のための資金調達窓口）を設定し、

2つのカテゴリーを設けます。

1.

現在、国連信託基金が資金提供をしている市民社会組織（より小規模な女性団体を優先）への追加支援：COVID-19危機によって生じた組織運営上の問題に対応するための資金を提供し、プロジェクトの持続可能性と組織自体の長期的かつサステナブルな運営を支援する

2.

COVID-19対応に特化した新規プロジェクトへの支援：COVID-19危機にもたらされた女性と女の子に対する暴力の支援ニーズに対応するための新規プロジェクトに資金を提供する



ジェンダー視点に基づき、地域の実状に合った、COVID-19と女性と女の子に対する暴力への対応：～女性が意思決定の役割を～

- **UN Safe City and Safe Public Space Initiative**（国連セーフシティと安全な公的空間イニシアティブ）のパートナーである、世界各地の地方自治体、司法・警察・医療セクター、草の根の女性団体と協力し、地方自治体のあらゆる部局（交通、公園、公共の仕事場、公衆衛生、公営住宅）へのサポートを強化し、COVID-19危機下での、公共空間における女性と女の子の安全を確保します
- フィジー、マラウイ、南アフリカ、トンガ、バヌアツの国連事務所は、COVID-19における女性と女の子に対する暴力の現状、支援団体のキャパシティの状況、相談電話対応のモニタリングや緊急アセスメントを開始し、適当なガイドラインを配布しています。一部の取組みは、ASEANのSafe and Fair programme（安全と公正プログラム）を通じて行なっています
- Safe and Fair programme は、上記のアセスメントの結果として、国境警察や武装警備隊による、外国からの帰国者への性的搾取および性暴力のリスクの増加と、仕事を失い、家族を養えなくなった女性移民労働者への精神的暴力のリスクの増加を指摘しています

Photo: UN Women/Ryan Brown



EMERGENCY

Coronavirus disease (COVID-19) outbreak

Photo: Unsplash/ Markus Spiske

COVID-19パンデミックに対応した、質の高い必須サービスの提供

- UN Womenケニア事務所は、最前線で働く医療関係者のために家族のためのメンタルヘルスとウェルビーイングプログラムの研修を行い、能力強化を行なっています
- バヌアツ、スーダン、トリニダード・トバゴでは、医療に繋ぐ経路（レファレル・パスウェイ）と、サービス提供に関するプロトコルのアップデートを支援しています
- フィジーでは、暴力サバイバーへのオンラインサービス提供に関するガイダンスを提供しました。コミュニティの代表や村落のリーダーと協働するにあたり、暴力サバイバーに害を及ぼさない（do no harm）ための行動規範がすでに制定されています
- EU-UN Spotlight Initiative（EU-国連スポットライトイニシアティブ）の一環として、ジャマイカとグレナダでは、COVID-19対応のためのオンライン化に向けた能力強化支援を政府のジェンダー局、（警察等の）法執行機関、（裁判所等の）司法組織に対し行なっています

コミュニティを動かすための知見の提供と意識啓発

- マスメディアとソーシャルメディアに対し、COVID-19危機に伴う女性と女の子への暴力増加に関する啓発活動に貢献しています。例えば、ポジティブな男性らしさ/家庭内の責任分担の推進、家事労働者や脆弱な労働者への支援の重要性に特化した内容です。（アンティグア・バーブーダ、マラウイ、スーダン、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ、モロッコ）
- 通信会社・携帯電話事業者と協働し、メッセージの発信とサービス提供を行なっています（アンティグア・バーブーダ、南アフリカ）
- ガイアナでは、EU-UNスポットライトイニシアティブの一環として実施されている暴力的な男性らしさに異議を唱える取組みと、女性と女の子に対する暴力根絶に向けた市民社会組織によるアドボカシーをCOVID-19の文脈に落とし込み、テクノロジーを活用しながら対応しています
- グルジアとトルコでは、民間企業に対して、DVサバイバーを含む従業員へのサポートを要請しました



Photo: Unsplash/
Markus Spiske

FOOTNOTES

1. <https://undocs.org/E/CN.6/2020/3>
2. Report of the Secretary General. Special edition: Progress towards the Sustainable Development Goals. 8 May 2019 (E/2019/68). Available here: <https://undocs.org/en/E/2019/68>
3. WHO, Global and Regional Estimates of Violence against Women: Prevalence and Health Effects of Intimate Partner Violence and Non-Partner Sexual Violence (Geneva, 2013).
4. United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC), Global Study on Homicide: Gender Related Killing of Women and Girls 2018 (Vienna, 2018).
5. United Nations Economic and Social Affairs (2015). The World's Women 2015, Trends and Statistics
6. "Domestic violence cases jump 30% during lockdown in France" <https://www.euronews.com/2020/03/28/domestic-violence-cases-jump-30-during-lockdown-in-france>, accessed 3rd April 2020
7. "Commentary: Isolated with your abuser? Why family violence seems to be on the rise during COVID-19 outbreak", <https://www.channelnewsasia.com/news/commentary/coronavirus-covid-19-family-violence-abuse-women-self-isolation-12575026>, accessed 2nd April 2020
8. "Lockdowns around the world bring rise in domestic violence" <https://www.theguardian.com/society/2020/mar/28/lockdowns-world-rise-domestic-violence>, accessed 3rd April 2020
9. "During quarantine, calls to 144 for gender violence increased by 25%" http://www.diario21.tv/notix2/movil2/?seccion=desarrollo_nota&id_nota=132124, accessed 2nd April 2020
10. "Coronavirus: I'm in lockdown with my abuser" <https://www.bbc.com/news/world-52063755>, accessed 3rd April 2020
11. "Domestic violence cases escalating quicker in time of COVID-19" <https://missionlocal.org/2020/03/for-victims-of-domestic-violence-sheltering-in-place-can-mean-more-abuse>, accessed 3rd April
12. Lockdowns around the world bring rise in domestic violence" <https://www.theguardian.com/society/2020/mar/28/lockdowns-world-rise-domestic-violence>, accessed 3rd April 2020
13. "Domestic Violence Spikes During Coronavirus As Families Trapped At Home" <https://10daily.com.au/news/australia/a200326zyjkh/domestic-violence-spikes-during-coronavirus-as-families-trapped-at-home-20200327>, accessed 2nd April 2020
14. "Women are using code words at pharmacies to escape domestic violence during lockdown", <https://www.cnn.com/2020/04/02/europe/domestic-violence-coronavirus-lockdown-intl/index.html>, accessed 4th April 2020
15. <https://itu.foleon.com/itu/measuring-digital-development/gender-gap/>
16. European Union Agency for Fundamental Rights (2014). Violence against women: an EU-wide survey
17. <https://www.theguardian.com/world/2020/apr/02/coronavirus-lockdown-raises-risk-of-online-child-abuse-charity-says>
18. Pandemic profiteering-How criminal exploit the Covid-19 crisis, March 2020, Europol.
19. <https://www.reuters.com/article/us-women-rights-cyberflashing-trfn-idUSKBN2153HG>
20. UNGA A/70/723. Protecting Humanity from Future Health Crises: Report of the High Level Panel on the Global Response to Health Crises; UNICEF Helpdesk, "GBV in Emergencies: Emergency Responses to Public Health Outbreaks," September 2018, p. 2.
21. IASC (2015). Guidelines for Integrating Gender-Based Violence Interventions in Humanitarian Action: Food Security and Agriculture; UNGA A/70/723. Protecting Humanity from Future Health Crises: Report of the High Level Panel on the Global Response to Health Crises.
22. <https://www.indiatoday.in/crime/story/jharkhand-minor-girl-accuses-friend-8-others-of-rape-in-dumka-1660566-2020-03-28>
23. <http://www.sddirect.org.uk/media/1881/vawg-helpdesk-284-covid-19-and-vawg.pdf>
24. Johnson & Dawson. 2011. Violence Against Women in Canada: Research and Policy Perspectives. Don Mills, Ontario. Oxford University Press.
25. <https://www.unwomen.org/en/news/stories/2016/9/speech-by-lakshmi-puri-on-economic-costs-of-violence-against-women>
26. Almost 10 million people have filed for unemployment benefits over the last two weeks, New York Times, 2 April 2020.

This Japanese translation was funded by the European Union through the WE EMPOWER – G7 programme jointly implemented by UN Women and ILO (2018-2020).

この日本語翻訳版は、WE EMPOWER G7プログラム (2018-2020) を通じて、EU(欧州連合)の資金提供によって作成されました。WE EMPOWER G7プログラムは、UN Women (国連女性機関) とILO (国際労働機関) により実施されています。

